

# ALPHA Healing Garden クラブ 活動報告(第122回)



実施日時:2022年11月16日(水) 10:45~12:15

参加者:豊田先生・大中先生+クラブ員(7) = 9名

場所:園芸療法ガーデン

内容:各班の作業 ~展示ゾーンの花壇管理や創作・メンテ作業~



## 音の花壇 2班



### <3班>

秋本番、フィールドの大木が赤や黄色に色づき始めました。暖かい小春日和の陽気が心地よい今日の作業が始まりましたが、3班は3人の参加でした。

②全体の除草  
アップルミント、シマトネリコ、カタバミ等がとくに旺盛に広がる。  
③キャットミントの剪定  
日差しを浴びて大きくなり、周りの植物に重なっていたので。

### ○活動したこと

①セルバチコの剪定  
セルバチコは秋に黄色の可愛い花と種を多くつけ飛び散るので種を残さないために。

○次回の予定  
・レモングラス、レモンパーペナ  
冬に向けて、寒さから守るために不織布などで風除けをする。  
(Mさん)

## 味覚と香りの花壇 3班



### <4班>

創作・メンテ  
4班の報告です。  
○作業内容  
ハンギングフレームの柱及び一部レイズドベッド縁板の塗装の剥がれが目立っていたので、その箇所を補修をおこないました。  
○次回の予定  
次回も引き続き塗装の補修をおこなう予定です、補修箇所は当日に相談したいと思います。(Sさん)



<色の花壇・触れる花壇・音の花壇> 隣のアナベルを覆うように大きく葉を伸ばしたニューサイランの刈り込みや目につくよとヒヤッとした冷気が感じられる作業日でした。  
雑草抜きなどを行いました。  
・音の花壇  
先月までに補植をしたグラス類が風に揺れ、カリンも色づきが進み、池にはメダカが戻ってきたようです。

○今後の予定  
・色の花壇のピオラなどの花がら摘みやナメクジ除けの散布  
・触れる花壇と香りと味覚の花壇の境のクジの食害と半数以上のシクラメンの抜き取りが、見られました。  
・葉の落ちた冬の時期に上部に伸びたフジのツルの剪定  
・全般に雑草取りや落ち葉掃除。  
(U)

・触れる花壇  
先月植えたアサギリソウに小さな芽が付き、キャットテールも赤い穂が元気な様子です。

## 色の花壇



### 概略図 (対象エリア)



## 触れる花壇

### 1班

今月の植物; 11月に、小さな黄色い花が咲きました。  
モクビャクウ (キク科) 多年草

### 園芸療法から見た特徴

1. 感覚  
葉はヘラ状で独特の匂いがあり、表面には灰白色の短毛が密に生えるシルバーリーフ。葉は、革製品に似た質感がある。
2. 栽培管理・性質  
夏の暑さや乾燥に強い。寒さに弱いため、霜や寒風を避ける。
4. 利用法  
ロックガーデン・鉢植・花壇。
5. エピソード  
自生種は、絶滅危惧II類。東アジア(亜熱帯から熱帯)が原産。

### <触れる花壇>



## 原則 毎月 第4水曜日

ただし、\*; <2022>12月は第3水曜日

<2022> 12/21\*  
<2023> 1/25 2/22 3/22

現在、クラブ員の募集は停止しています。

コロナの陽性者数がジワリと増えている中での例会開催、休日の関係で1週間前倒しの第3水曜日となったことなどから参加者は一桁になりましたが、秋のイベントに備えた先月までの植えつけ作業や植物解説板の更新などのお陰ですっきりしたガーデン、その良さが維持できるような作業を行いました。お疲れさまでした。解説板のイメージを右のモクビャクウを例に紹介します。世話人; 植田(11/18記)

今後の予定